<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	新しい東北の暮らしを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0444	—	0092

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	「新しい東北の暮らしを考える会」は2011年の東日本大震災後の2012年より活動を開始し『災害に強くユーザー様が長く安心して住む事の出来る住宅』を目指して活動しております。また住宅の設備機器をIoT活用により便利に手軽にエコを提案、住宅を長く安心してお使いいただくためのご提案もさせていただいております。東北地方から関東まで様々な地域、異なる条件などグループ全体で課題に対応。ユーザー様のニーズにお応えして参ります。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/04/01	名称	グリーン化事業説明会			
	内容	地域別にグリーン化事業の説明会を開催し補助事業の内容とグループルール及びグループの事業計画を説明した。 構成員数の少ない一部地域では事務局が訪問し個別に説明に行なった。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/11/17	名称	地域型住宅完成見学会			●
	内容	地域型住宅の完成現場見学会を実施、広く一般ユーザーに見学及び体感頂き地域型住宅の良さを訴求した。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/03/02	名称	構成員の構造見学会応援			●
	内容	来場施主様へ「長期優良住宅」「ZEH」等の住宅政策の説明を実施し理解頂いた上で良質な住宅に長期間お住すまいいただけるよう地域型住宅の提案をします。							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/09	名称	地域型住宅完成見学会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/11/20	名称	ゼロエネ住宅建築セミナー	タイプ	座学	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/03/08	名称	受注倍増セミナー	タイプ	座学	●
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/03/13	名称	未経験工務店巡回	タイプ	座学	●
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	●
	内容	サポートセンターと提携し各種評価申請の支援体制を構築し施工構成員に提供している。	
取組み②	サポートの有無 2	有	●
	内容	全く経験のない工務店には、構成員に協力を仰ぎプランニングから認定申請まで支援できる態勢を構築して提供している。	
取組み③	サポートの有無 3	有	●
	内容	補助金の交付申請書等の作成については事務局が個別に作成支援を行なっている。	

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	13	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	パナソニックリビングベル等		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	施工構成員をバックアップビルダーとする完成保証スキームを構築し建築主に紹介しています。 引渡し後に関しても、同様の体制とし、併せて住宅瑕疵担保保険の延長をルールとしています。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	東北地区のクループである為、光熱費削減と健康維持を目的として長寿命型であっても、省エネ基準の外皮より5%以上の断熱性能向上をグループルールとし省エネルギー化に取り組んでいます。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	国交省の省エネ技術講習会の受講を案内すると共に、グループ独自で省エネ研修会を開催しました。併せて希望する構成員には仕様の提案を行ないました。	
BELS工務店の登録数	22 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	新しい東北の暮らしを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0444	—	0092

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/03	名称	H31年度クリーン化事業内容説明会			
	内容	今年度は補助事業の枠組みが大きく変わっている為、補助事業の内容を詳しく説明すると共に、グループルールやグループの事業計画について説明を行ないます。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/11/02	名称	現場見学会の開催			
	内容	完成見学会を開催し、地域型住宅の良さを説明いたします。実住宅をご見学頂く事によりその良さを体感頂き広くその地域の消費者の方に訴求します。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/09/14	名称	住宅相談会開催			
	内容	事務局がメーカーとタイアップし相談会を開催するのと合わせ、施工構成員が開催する住宅イベントの支援を行ない、来場者に補助事業と地域型住宅の紹介を致します。							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/22	名称	耐震住宅見学会	タイプ	見学会	
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/26	名称	ゼロエネ研修会	タイプ	座学	
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/16	名称	働き方改革と労務管理研修会	タイプ	座学	
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/12/11	名称	安全衛生研修会	タイプ	座学	
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/01/29	名称	建築物省エネ法と外皮1次エネルギー計算研修会	タイプ	座学	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	今年度も全く経験のない工務店には、構成員に協力を仰ぎプランニングから認定申請までの支援を継続いたします。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	研修会の開催より外皮計算や1次エネルギー計算の対応力強化を図ります。	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容	今年度も補助金の交付申請書等の作成については事務局が個別に作成支援を行ないます。	

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	パナソニックリビングベル等

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	施工構成員をバックアップビルダーとする完成保証スキームを構築し建築主に紹介します。 引渡し後に関しても、同様の体制とし、併せて住宅瑕疵担保保険の延長をルールとします。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	東北地区のクループである為、光熱費削減と健康維持を目的として長寿命型であっても、省エネ基準の外皮より5％以上の断熱性能向上をグループルールとし省エネルギー化に取り組みます。併せて省エネルギー性能の見える化の為、BELS評価取得拡大に取り組みます。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	国交省の省エネ技術講習会の受講を案内すると共に、グループ独自で省エネ研修会を開催し、施工構成員の外皮計算及び1次エネルギー計算への対応強化に取り組みます。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/03	
内容	省エネ改修型に関する内容が公表されたのちグループとして取り組む事業者に研修会を開催する。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	新しい東北の暮らしを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0444	—	0092

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	東北地域は豪雪による積雪荷重や地震に対する配慮が求められます。又、東日本大震災の復興に伴う需要増、熟練職人の高齢化により施工力不足という課題があります。長寿命型及優良建築物については在来工法又2＊4工法とし、在来工法は金物工法やテクノストラクチャー工法の採用をはかり構造安定性の強化を図ると共に施工の合理化、工期短縮を実現し、施工力不足に対処致します。高度省エネ型については工法はルール化致しません。	●

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	特にありません
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	無	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	当面は既存商流を基本としますが、希望構成員を募り年間の推定需要予測を行い、プレカット事業者と価格交渉を行ないます。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	資材費低減のため事務局が標準仕様書を作成し、メーカーと価格取り決めを行い施工構成員に提示します。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	地域材の在庫、入荷予定、価格動向等に関し事務局が随時状況把握を行い、施工構成員に一斉メール配信により共有化を図ります。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	多雪地区であり且つ東日本大震災の被災地域でもある為、耐震性のには特に配慮する必要があります。そのため許容応力度計算を標準としますが、壁量計算による場合でもN値計算による金物選定をルールとします。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理書を作成しそれに基づき定期的な維持管理をおこないます。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	グループの設計構成員による検査を推奨します。今年度は補助事業対象物件の過半の実施を目指します。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	一式見積もりを禁止し消費者に分かりやすい見積書の提出を行ないます。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	働き方改革に対応するための研修会を開催すると共に、導入済みのグループ構成員の事例を紹介し労務管理制度の整備促進の支援を行ないます。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	上記研修会の開催と合わせ、昨年11月より受付の始まった建設キャリアアップシステムへの登録を推奨します。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的には全事業者加入済みです。しかし東日本震災の特定被災地域である為、臨時の雇用者の流入・流出があり不備が発生しないよう注意喚起を促します。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	建設工事従事者の安全・健康確保に必要な措置を、設計・施工等の各段階において適切に講じ、安全パトロールの実施、安全大会での安全管理方針・安全作業基準・交通法規等の遵守徹底を行なう。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	新しい東北の暮らしを考える会				
H30採択グループ番号	07	—	0444	—	0092

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	地域的背景を踏まえ和室又は畳コーナーの設置を推奨します。 推定使用量：150枚（25棟×6畳）
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	1次エネルギー計算等には反映されないが寒冷地である為、和室設置時には特に障子の活用を室内の保温・省エネルギー対策として積極的に推奨する。
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	東北地方は気候・風土が大きく異なるため、多雪地域ではベランダ設置時に屋根を張り出し積雪を防止するなど、各地域で従来から用いられているデザインを踏まえて設計を行なう。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	東北地域（特に郡部）では1次産業従事者が多く住宅内における共用部が必要とされています。設計に関しては従来の生活風習をヒアリングした上でプラン提案を行なう事とします。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	東北には昔ながらの街並みが保存されている地域が多数存在します。地域型住宅の設計に関しては建設地の景観条例や街並みガイドライン等を参考に地域特性を考慮したデザインを提案する事とします。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

被災地域にある施工構成員を支援して住宅相談会を開催、住宅再建を検討している被災者に補助事業による補助金の存在や、当会が提唱する地域型住宅「災害に強い健康エコ住宅」を提案した。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

事務局が中心となり、ブルーシートをはじめ緊急資材の支援やグループ構成員による施工力支援を計画しています。